

**土地・家屋の管理と生活についての町民調査
報告書**

調査について

先日は調査へのご協力をいただきありがとうございました。

本調査は、日南町にお住まいの方々が管理する田、畑、山林、家などに関することや日常生活に関する考え方などをお伺いし、農地・山林・家屋の管理に関する施策に役立つ目的で実施しました。調査の結果、日南町のみなさまの財に関する様々なことが分かってきました。現在も鋭意分析をしているところではありますが、本日は、これまで分かってきたことに関してご報告いたします。

調査概要

対象者

日南町にお住まいの方々のうち、自治会の配布物が行き渡る 2366 世帯（ほぼすべての世帯）を対象としています。

調査実施日

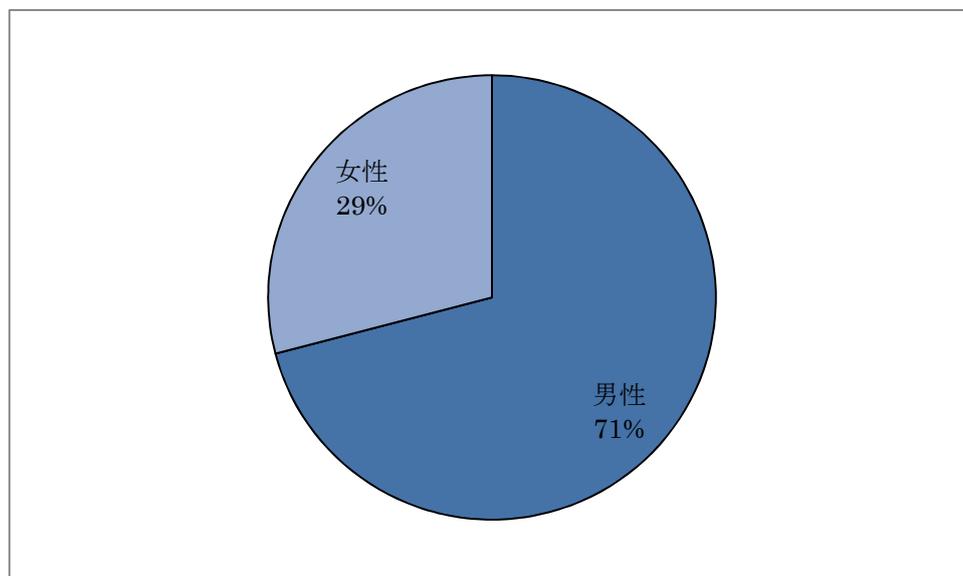
日南町在村者 2366 世帯に対し、自治内の配布網を使って調査票を配布しました。
2 月 25 日に発送し 3 月までに調査票を回収しました。

回収数・回収率

日南町 2366 世帯からの回収数は 998 票、有効回収率は 42%となっております。

調査へのご協力誠にありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。

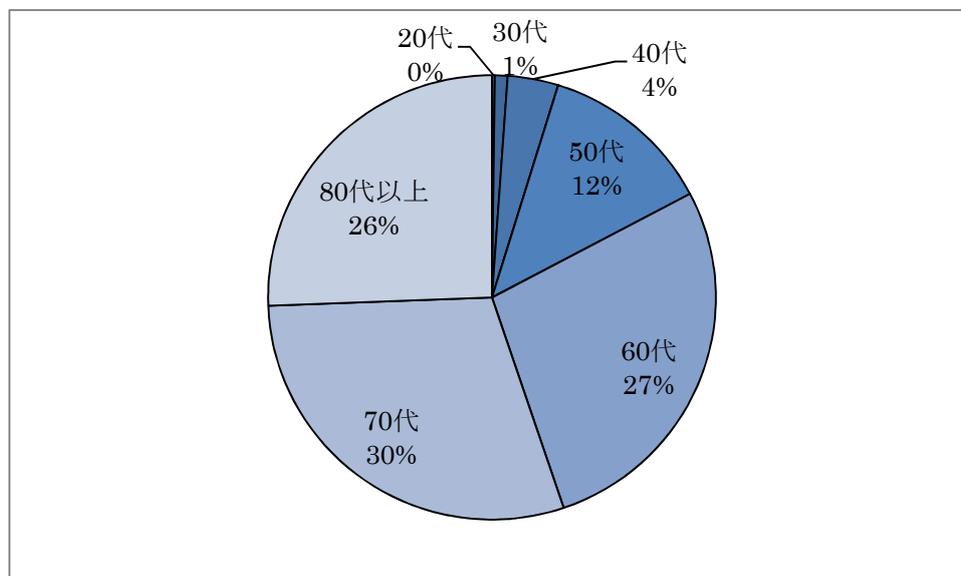
図1 性別



性別		
	度数 (人)	パーセント (%)
男性	698	71%
女性	286	29%
合計	984	100%

図1は、回答者の性別の分布を示したグラフである。回答者のうち 71%が「男性」であり、29%が「女性」である。この調査では各世帯で「財産の管理について詳しい方」に調査を依頼している。ここから、各家庭において財産管理は男性が主体となって行っている可能性がある。

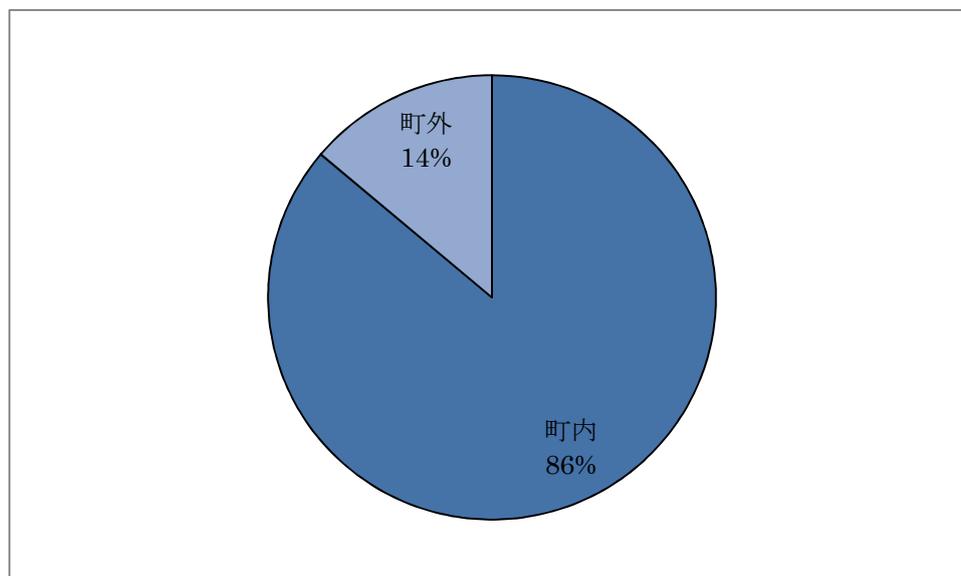
図2 年齢



	年齢	
	度数 (人)	パーセント (%)
20代	2	0%
30代	9	1%
40代	36	4%
50代	123	13%
60代	271	28%
70代	291	30%
80代以上	252	26%
合計	984	100%

図2は、回答者の年齢の分布を示したグラフである。「70代」と回答した割合が最も大きく、全体の30%を占めている。次いで割合の大きい方から、「60代」、「80代以上」、「50代」と続く。40代以下が占める割合は全体の5%である。ここから、60代以上の方々が中心となって財の管理を行っていることが分かる。

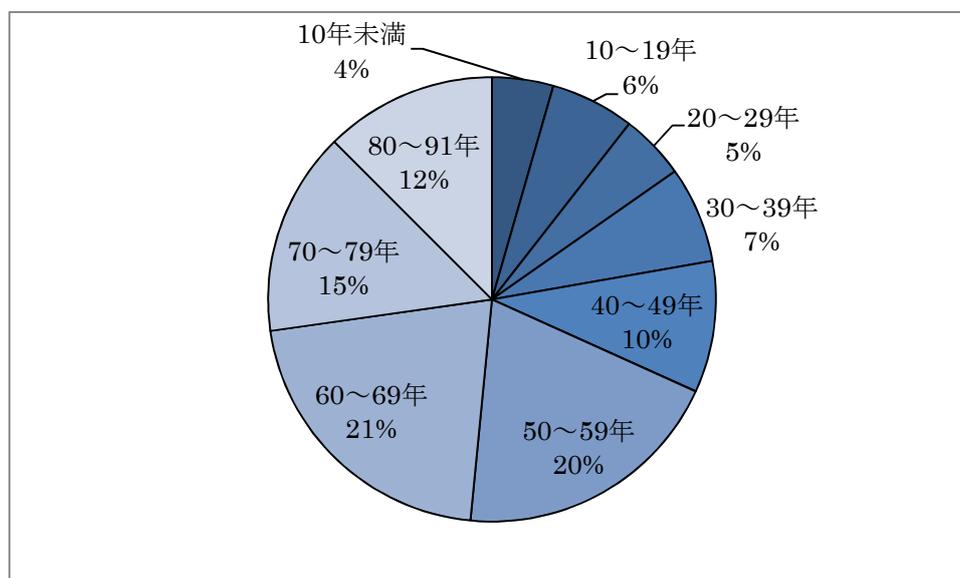
図3 出身地



出身地		
	度数 (人)	パーセント (%)
町内	846	86%
町外	136	14%
合計	982	100%

図3は、回答者の出身地を示したグラフである。日南町内の出身者が86%を占めている。他方で、町外の出身者は14%である。ここから、ほとんどの財産管理者が日南町内の出身であることが分かる。

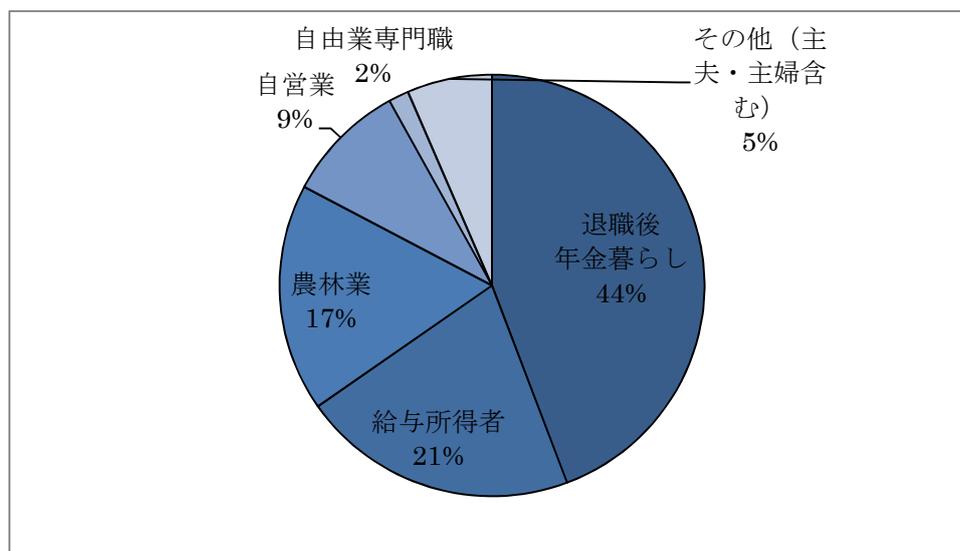
図4 居住年数



居住年数		
	度数 (人)	パーセント (%)
10年未満	43	4%
10～19年	59	6%
20～29年	46	5%
30～39年	68	7%
40～49年	93	10%
50～59年	192	20%
60～69年	206	21%
70～79年	144	15%
80年以上	121	12%
合計	972	100%

図4は、回答者の居住年数を示したグラフである。現在の場所に住み始めてから「60～69年」経つと回答した割合がもっとも大きく、全体の21%を占めている。次いで現在の場所に住み始めてから「50年～59年」経つと回答した割合は20%であった。現在の場所に住み始めてから「50年以上」経つ方のすべての回答を合計すると、68%もの回答者が50年以上現在の居住地に住み続けていることが分かる。他方で、現在の居住地に住み始めてから10年未満の回答者は全体の4%であった。ここから、多くの回答者は、長年同じ土地に住み続けていることが分かる。

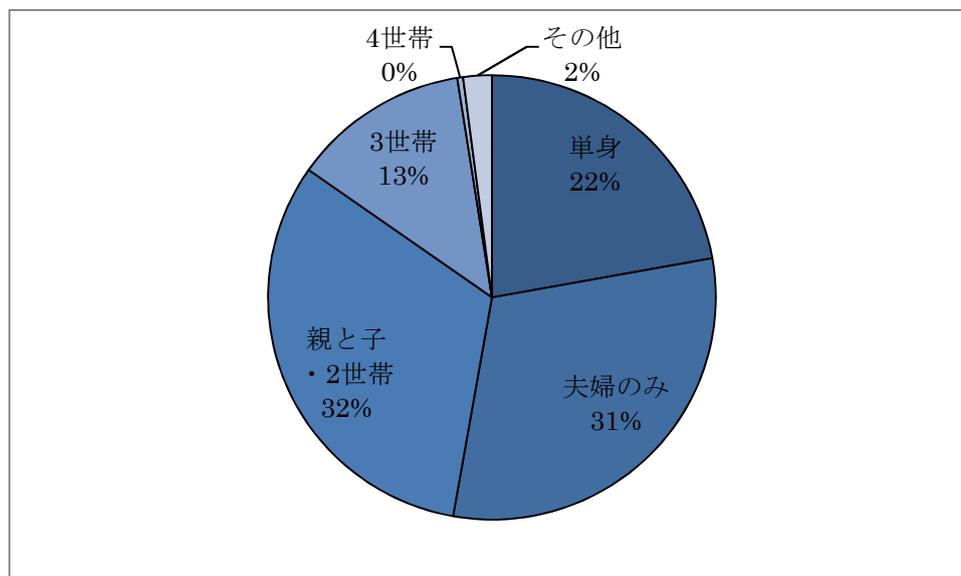
図5 職業



職業		
	度数（人）	パーセント（%）
退職後年金暮らし	431	44%
給与所得者	205	21%
農林業	170	17%
自営業	90	9%
自由業専門職	15	2%
その他（主夫・主婦含む）	63	6%
合計	974	100%

図5は、回答者の職業の分布を示したグラフである。「退職後あるいは年金暮らし」と回答した割合が最も大きく、全体の44%を占めている。次いで割合の大きかったものから順に、「給与所得者」が21%、「農林業」が17%となっている。ここから、財産管理者の収入源のほとんどは年金、給与、農林業によるものである可能性が高いといえる。

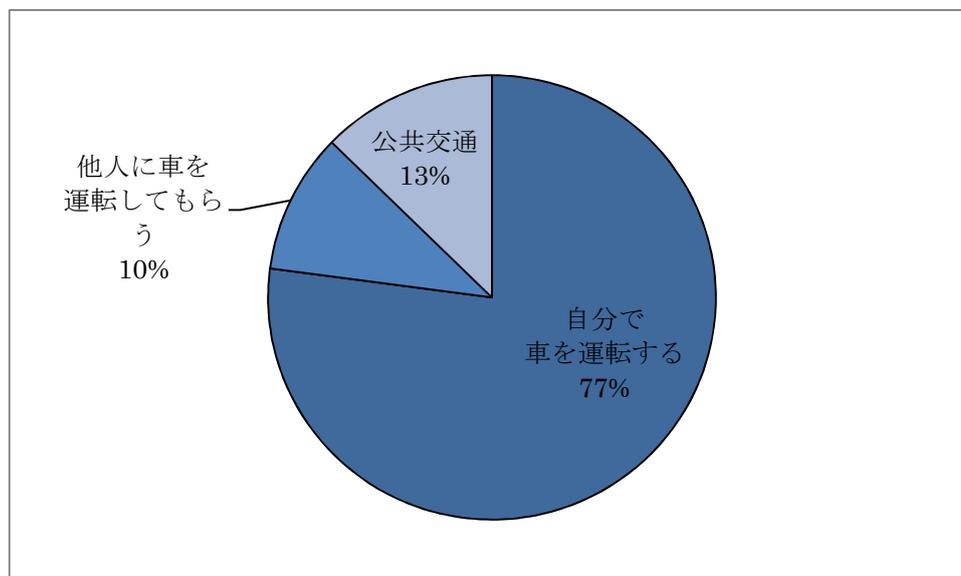
図6 家族構成



家族構成		
	度数 (人)	パーセント (%)
単身	215	22%
夫婦のみ	297	31%
2世帯・親と子	310	32%
3世帯	124	13%
4世帯	4	0%
その他	20	2%
合計	970	100%

図6は、回答者の家族構成を示したグラフである。割合が大きいものから順に、「2世帯・親と子」が32%、「夫婦のみ」が31%、「単身」が22%、「3世帯」が13%となっている。

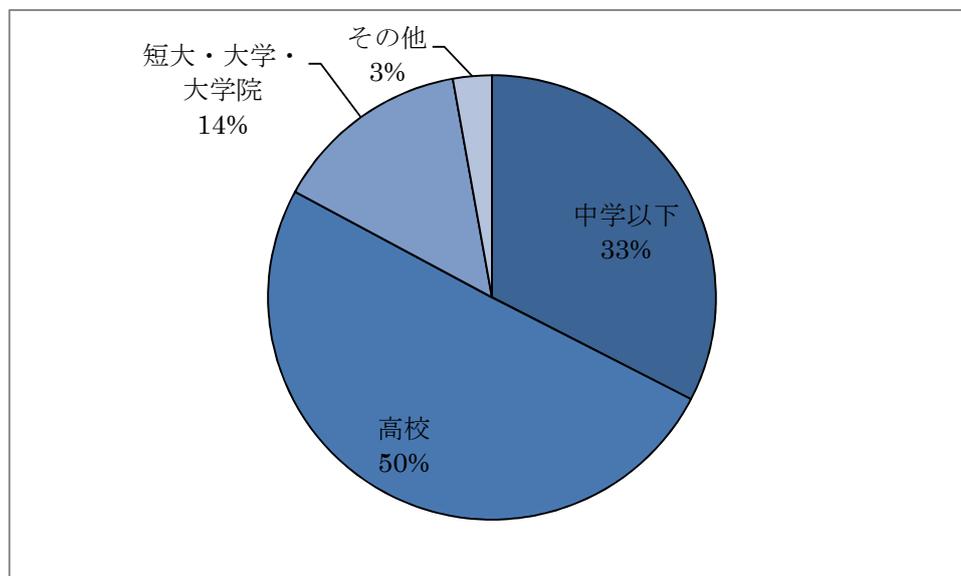
図7 交通手段



交通手段		
	度数 (人)	パーセント (%)
自分で車を運転する	740	77%
他人に車を運転してもらう	98	10%
公共交通	122	13%
合計	960	100%

図7は、回答者の普段の交通手段を示したグラフである。「自分で自家用車を運転している」方が全体の77%を占めている。また、「他人に自家用車を運転してもらう」方が7%、「公共交通」を使う方が13%である。ここから、日南町における主な交通手段は自家用車であることが分かる。

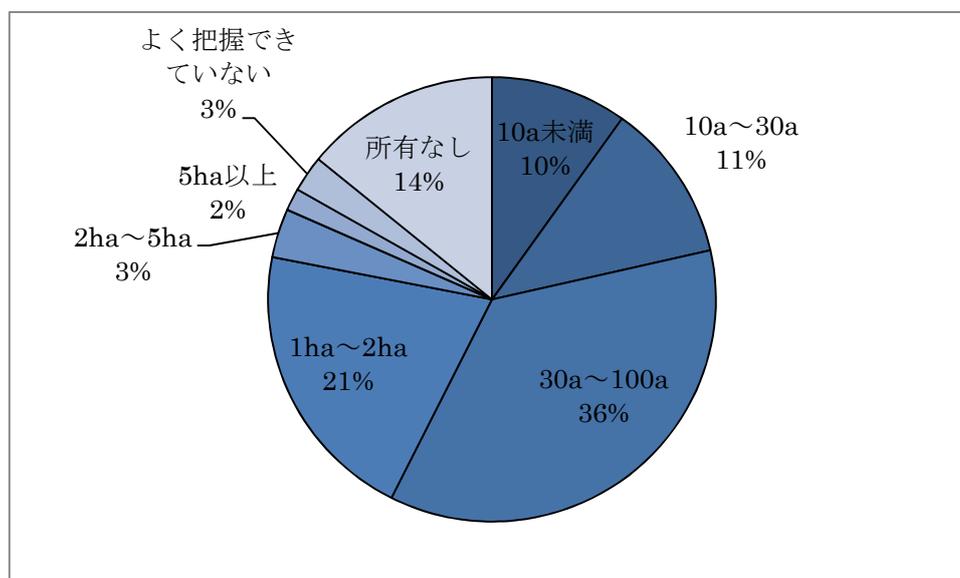
図8 教育歴



教育歴		
	度数 (人)	パーセント (%)
中学以下	314	33%
高校	485	50%
短大・大学・大学院	138	14%
その他	27	3%
合計	964	100%

図8は、回答者の教育歴の分布を示したグラフである。これを見ると、回答者の50%が高等学校での教育を受けていることが分かる。回答者のうち14%が短大以上の教育を受けている。

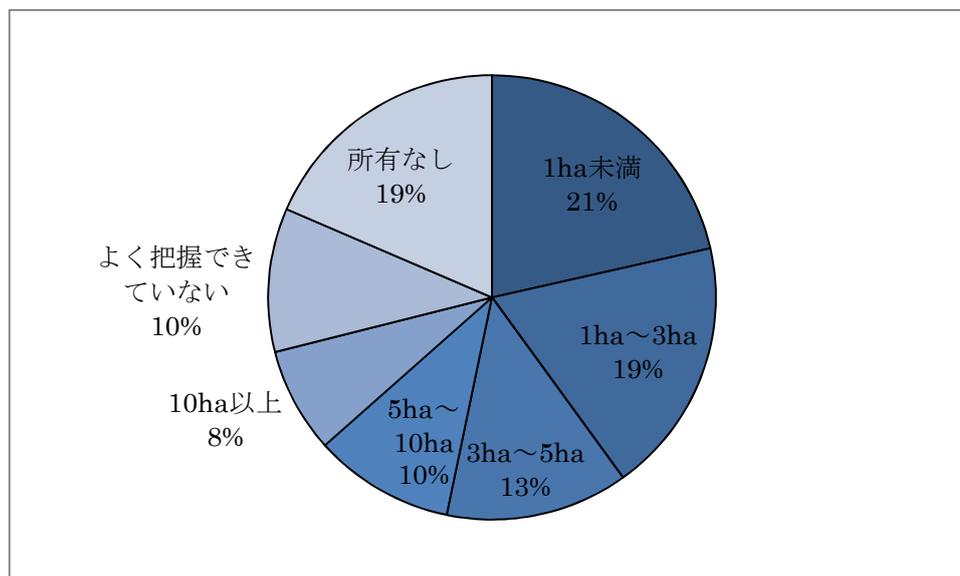
図9 農地の所有面積



農地所有		
	度数	パーセント (%)
10a未満	97	10%
10a~30a	114	12%
30a~100a	354	36%
1ha~2ha	203	21%
2ha~5ha	35	4%
5ha以上	16	2%
よく把握できていない	26	3%
所有なし	139	14%
合計	984	100%

図9は、農地の保有面積の分布を示したグラフである。回答者のうち、86%が農地を保有している。所有面積ごとにその内訳を見ると、割合が大きいものから順に、「30a~100a」の所有が36%、「1ha~2ha」の所有が21%、「10a~30a」の所有が11%、「10a未満」の所有が10%である。中国地方の耕地面積ごとの農家数を見ると、1ha未満が約70%、1ha以上が約20%を占めている（平成25年農業構造動態調査より）。ここから、日南町の一農家あたりの農地保有面積は中国地方の農家の一般的な農地保有面積とほぼ同じであるといえる。

図10 人工林の所有面積

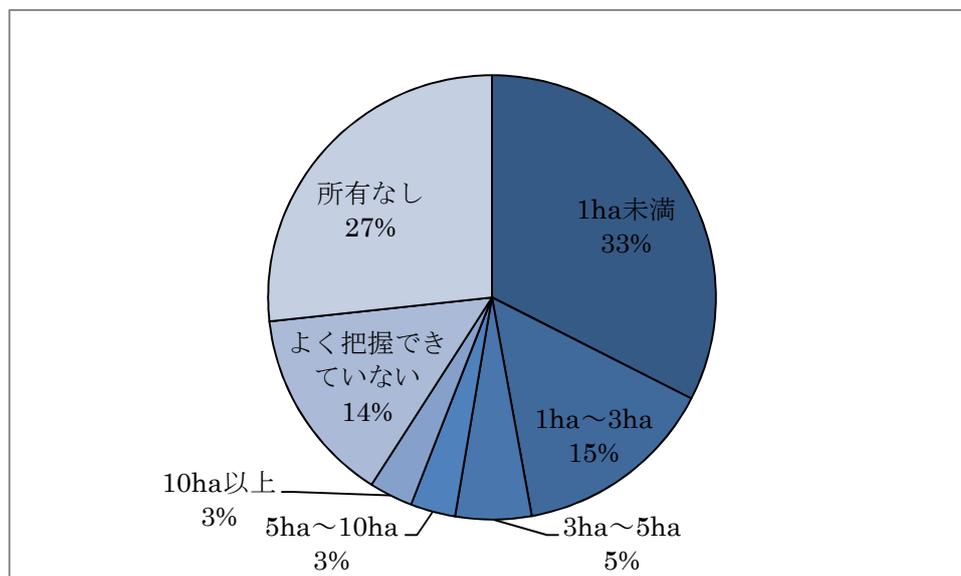


人工林所有

	度数	パーセント (%)
1ha未満	211	21%
1ha~3ha	183	19%
3ha~5ha	130	13%
5ha~10ha	100	10%
10ha以上	75	8%
よく把握できていない	103	10%
所有なし	182	18%
合計	984	100%

図10は、人工林（スギ、ヒノキなど）の所有面積の分布を示したグラフである。最も割合の大きい回答は、「1ha 未満（所有している）」（21%）である。次いで割合の大きなものから順に、「1ha~3ha」（19%）、「所有なし」（19%）である。ここから、8割の回答者が人工林を所有していることが分かる。さらに、人工林を所有する回答者の7割は、5ha 未満の人工林を所有していることが分かる。

図 1 1 雑木林の所有面積

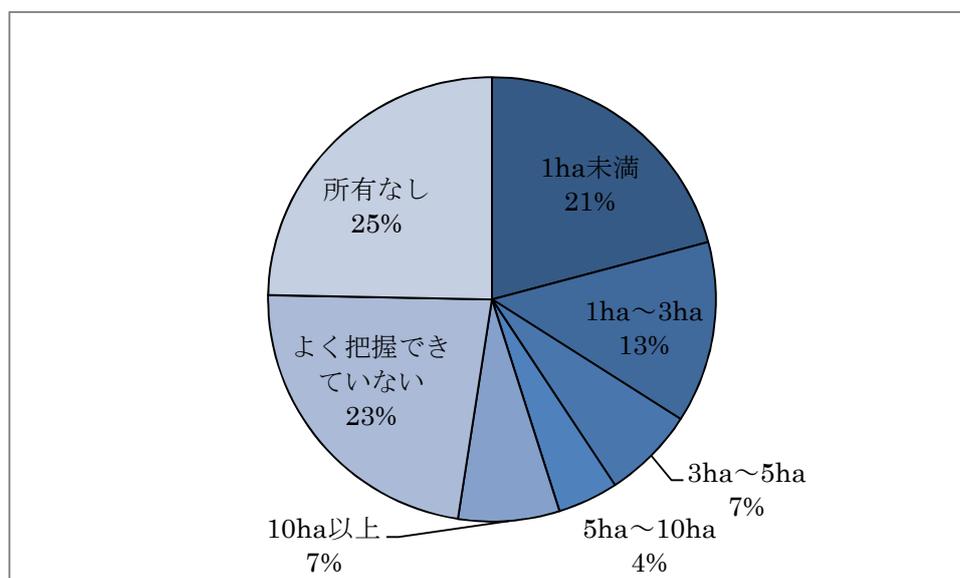


雑木林所有

	度数	パーセント (%)
1ha未満	320	33%
1ha~3ha	144	15%
3ha~5ha	54	5%
5ha~10ha	32	3%
10ha以上	31	3%
よく把握できていない	140	14%
所有なし	263	27%
合計	984	100%

図 1 1 は、雑木林の所有面積の分布を示したグラフである。回答者の 73%が雑木林を所有していることが分かる。所有面積ごとに回答の割合をしてみると、「1ha 未満」の所有が 33%、「1ha~3ha」の所有が 15%である。他方で、回答者のうち 27%が雑木林を「所有していない」ことが分かる。ここから、回答者の雑木林の所有状況は、3ha 未満の所有が中心となっていることが分かる。

図 1 2 共有林の所有面積

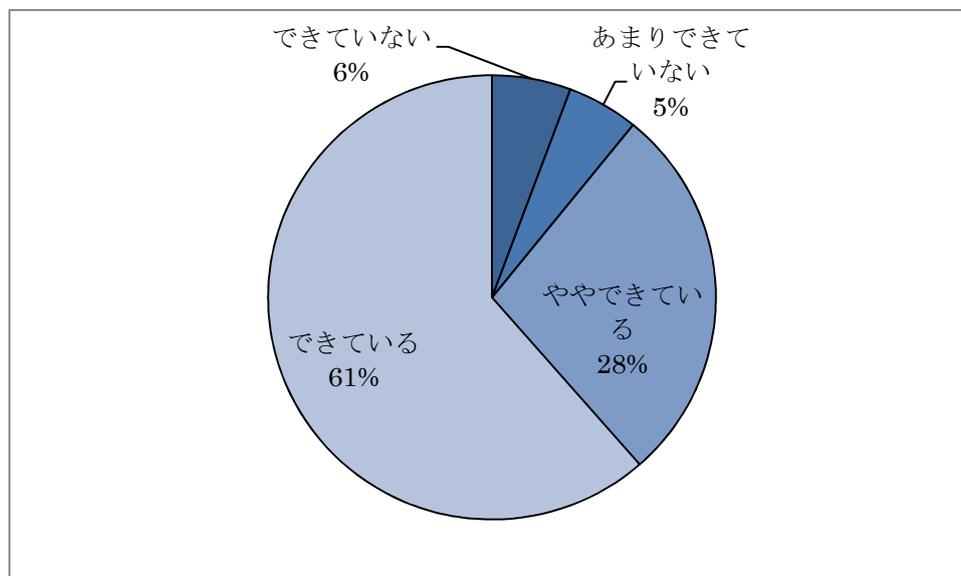


共有林所有

	度数	パーセント (%)
1ha未満	205	21%
1ha~3ha	130	13%
3ha~5ha	66	7%
5ha~10ha	43	4%
10ha以上	72	7%
よく把握できていない	225	23%
所有なし	243	25%
合計	984	100%

図 1 2 は、共有林の所有面積の分布を示したグラフである。回答者の 75%が共有林を所有していることが分かる。所有面積ごとに回答の割合をしてみると、「1ha 未満」の所有が 17%、「1ha~3ha」の所有が 5%、「3ha 以上」の所有は 5%である。他方で、回答者のうち 25%は共有林を所有していない。また、所有面積を「よく把握できていない」と答えた割合は 23%である。ここから、回答者の 8 割が共有林を所有しているものの、そのうちの 3 割は所有面積を把握できていないことが分かる。

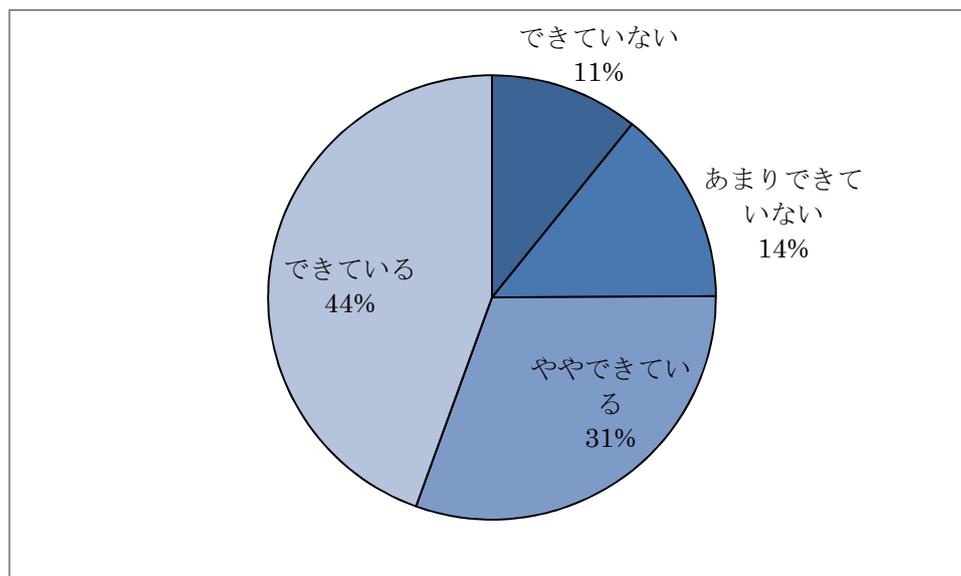
図 1 3 田の管理



田の管理		
	度数	パーセント (%)
できていない	42	6%
あまりできていない	38	5%
ややできている	204	28%
できている	453	61%
合計	737	100%

図 1 3 は、田を所有していると答えた方の田の管理状況を示したグラフである。最も多い回答は管理が「できている」(61%) である。また、「できている」と「ややできている」を合わせると、89%の回答者が、田の管理ができていることになる。他方で、管理が「できていない」と「あまりできていない」を合わせると、その割合は 11%である。ここから、ほとんどの回答者は田の管理ができていることが分かる。

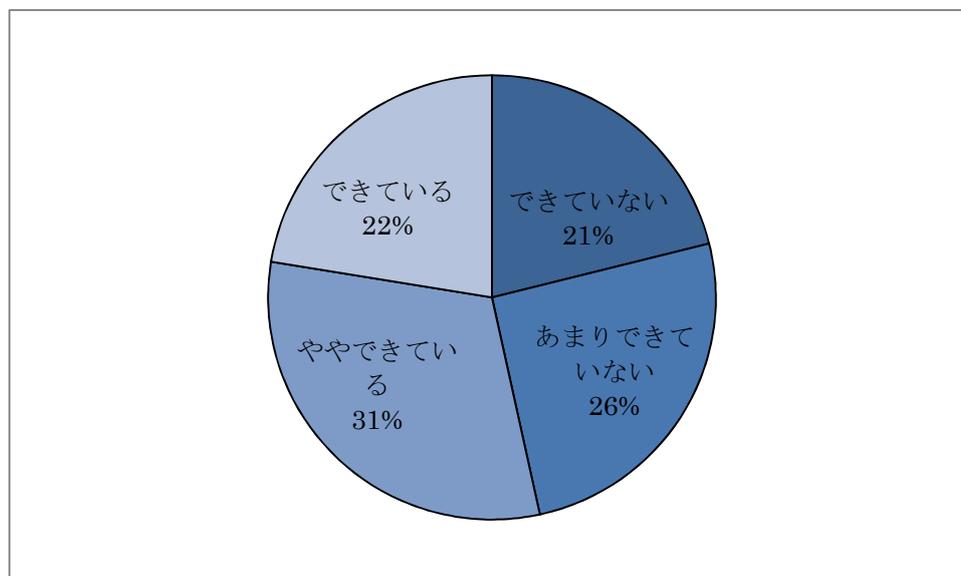
図1 4 畑の管理



畑の管理		
	度数	パーセント (%)
できていない	83	11%
あまりできていない	109	14%
ややできている	236	31%
できている	343	44%
合計	771	100%

図1 4は、畑を所有していると答えた方の畑の管理状況を示したグラフである。最も多い回答は管理が「できている」(44%)である。また、「できている」と「ややできている」を合わせると、75%の回答者が畑の管理ができていることになる。他方で、管理が「できていない」、「あまりできていない」と回答した割合は25%である。ここから、回答者の8割は畑の管理ができていると分かる。

図15 人工林の管理

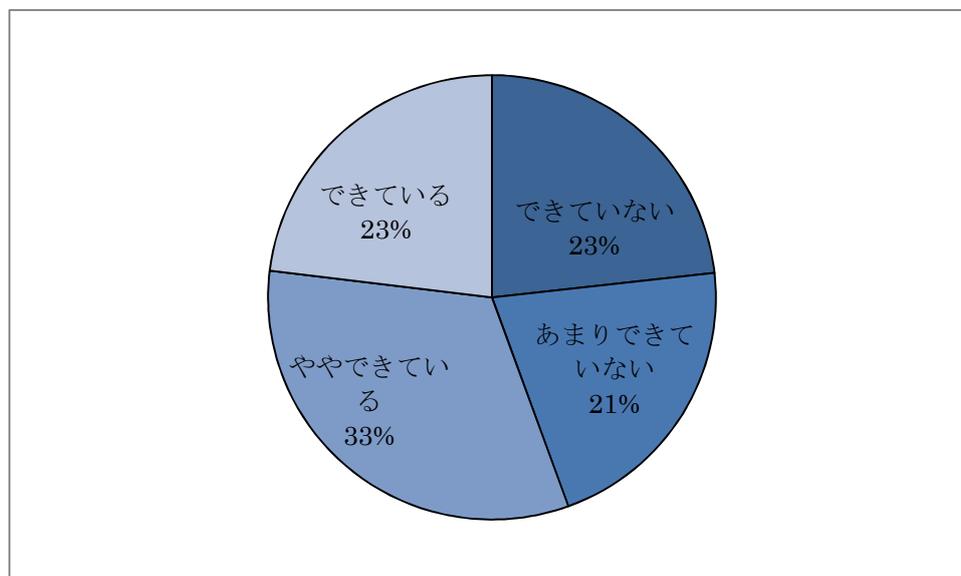


人工林の管理

	度数	パーセント (%)
できていない	160	21%
あまりできていない	193	25%
ややできている	235	31%
できている	170	22%
合計	758	100%

図15は、スギ、ヒノキなどの人工林を所有していると答えた方の人工林の管理状況を示したグラフである。最も多い回答は、管理が「ややできている」(31%)である。また、「できている」と「ややできている」を合わせると、53%の回答者は人工林を管理できていることになる。他方で、管理が「できていない」、「あまりできていない」と回答した割合は47%である。

図16 共有林の管理

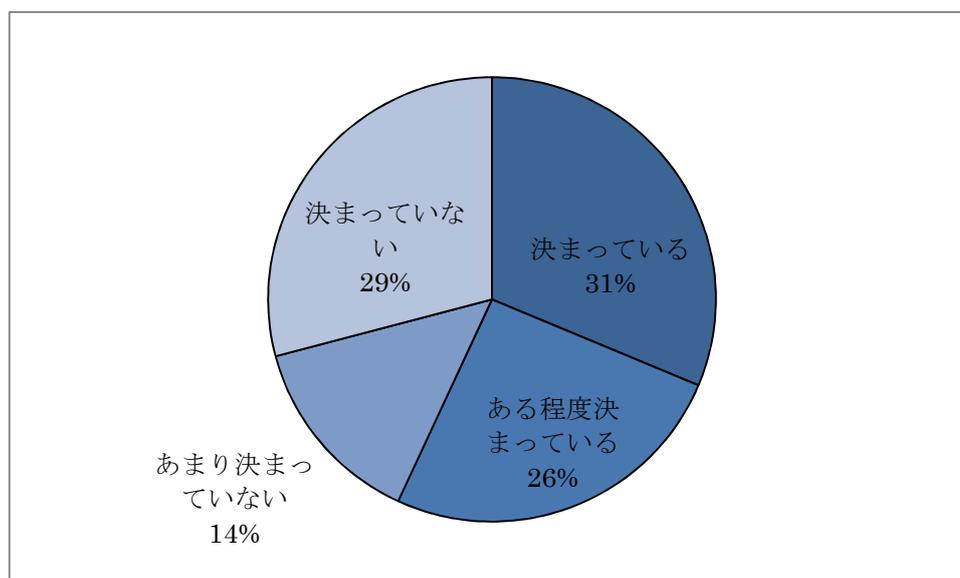


共有林の管理

	度数	パーセント (%)
できていない	149	23%
あまりできていない	136	21%
ややできている	208	32%
できている	148	23%
合計	641	100%

図16は、共有林を所有していると回答した方の共有林の管理状況を示したグラフである。最も多い回答は管理が「ややできている」(33%)である。また、「できている」と「ややできている」を合わせると56%の回答者が共有林を管理できていることになる。他方で、管理が「できていない」、「あまりできていない」と回答した割合は44%である。ここから、回答者の6割は共有林の管理ができていることが分かる。

図 1 7 農地の継承

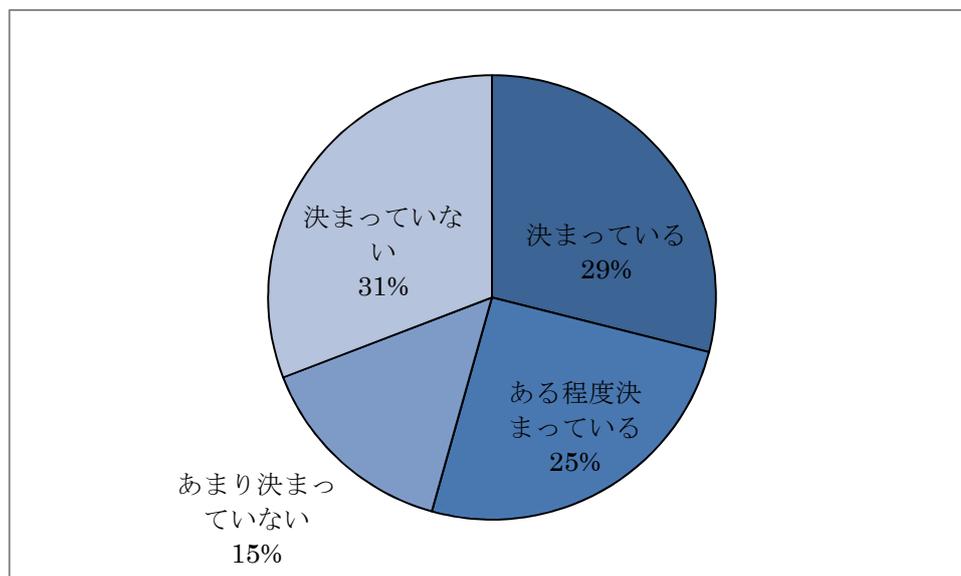


農地継承

	度数	パーセント (%)
決まっている	255	31%
ある程度決まっている	208	26%
あまり決まっていない	114	14%
決まっていない	237	29%
合計	814	100%

図 1 7 は農地の継承者の有無についての回答の分布を示したグラフである。最も多い回答は、農地の継承者が「決まっている」(31%) である。継承者が「決まっている」と「ある程度決まっている」を合わせると、その割合は 57% となる。他方で、継承者が「決まっていない」、「あまり決まっていない」を足すと、その割合は 43% となる。ここから、回答者の 6 割は農地の継承者をすでに決めていることが分かる。

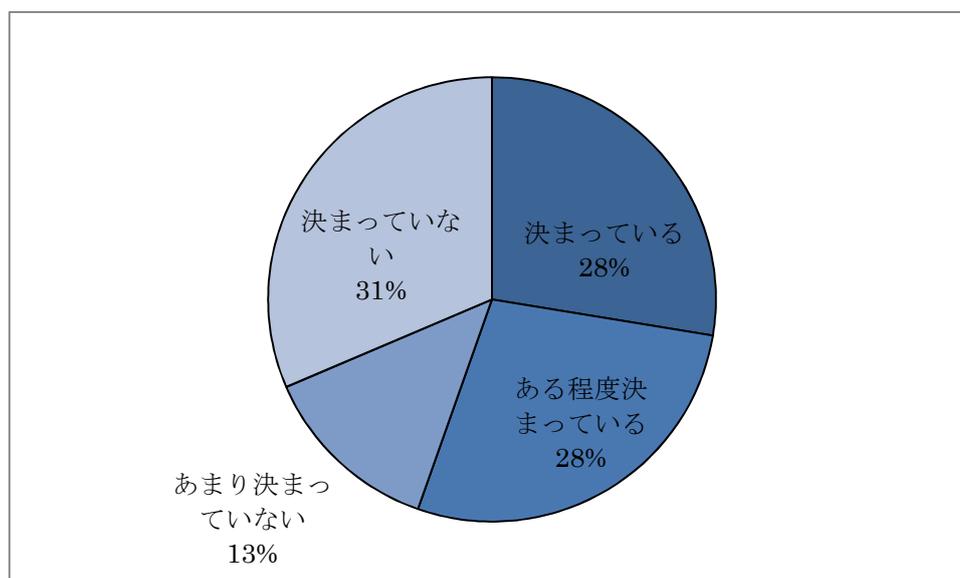
図 1 8 山林の継承



山林継承		
	度数	パーセント (%)
決まっている	227	29%
ある程度決まっている	199	25%
あまり決まっていない	116	15%
決まっていない	242	31%
合計	784	100%

図 1 8 は山林（人工林、雑木林含む）の継承者の有無についての回答の分布を示したグラフである。最も多い回答は、山林の継承者が「決まっていない」（31%）である。継承者が「決まっている」と「ある程度決まっている」を合わせると、その割合は 54%となる。他方で、継承者が「決まっていない」、「あまり決まっていない」を合わせると、その割合が 46%となる。

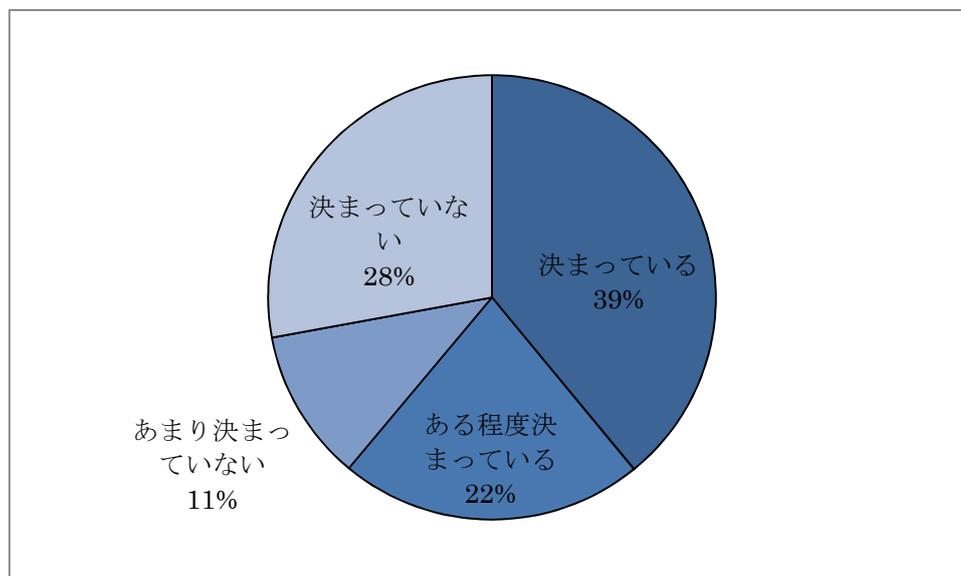
図 1 9 共有林の継承



共有林継承		
	度数	パーセント (%)
決まっている	180	28%
ある程度決まっている	181	28%
あまり決まっていない	86	13%
決まっていない	205	31%
合計	652	100%

図 1 9 は共有林の継承者の有無についての回答の分布を示したグラフである。最も多い回答は、共有林の継承者が「決まっていない」(31%) である。継承者が「決まっていない」と「あまり決まっていない」を合わせると、その割合は 44% となる。他方で、継承者が「決まっている」、「ある程度決まっている」を合わせると、その割合は 56% となる。ここから、回答者の 6 割はすでに共有林の継承者を決めていることが分かる。

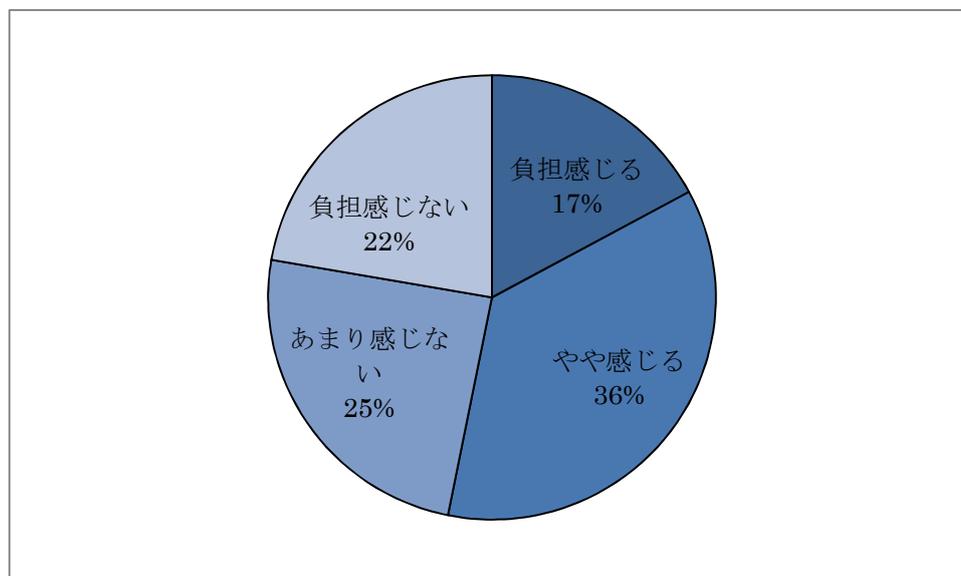
図 2 0 家屋の継承



家屋継承		
	度数	パーセント (%)
決まっている	357	39%
ある程度決まっている	201	22%
あまり決まっていない	101	11%
決まっていない	255	28%
合計	914	100%

図 2 0 は家屋の継承者の有無についての回答の分布を示したグラフである。最も多い回答は、家屋の継承者が「決まっている」(39%) である。継承者が「決まっている」と「ある程度決まっている」を合わせると、その割合は 61%となる。他方で、継承者「決まっていない」、「あまり決まっていない」と回答した割合は 39%である。ここから、回答者の 6割が、家屋の継承者をすでに決めていることが分かる。

図 2 1 農地に対する金銭的・精神的負担感

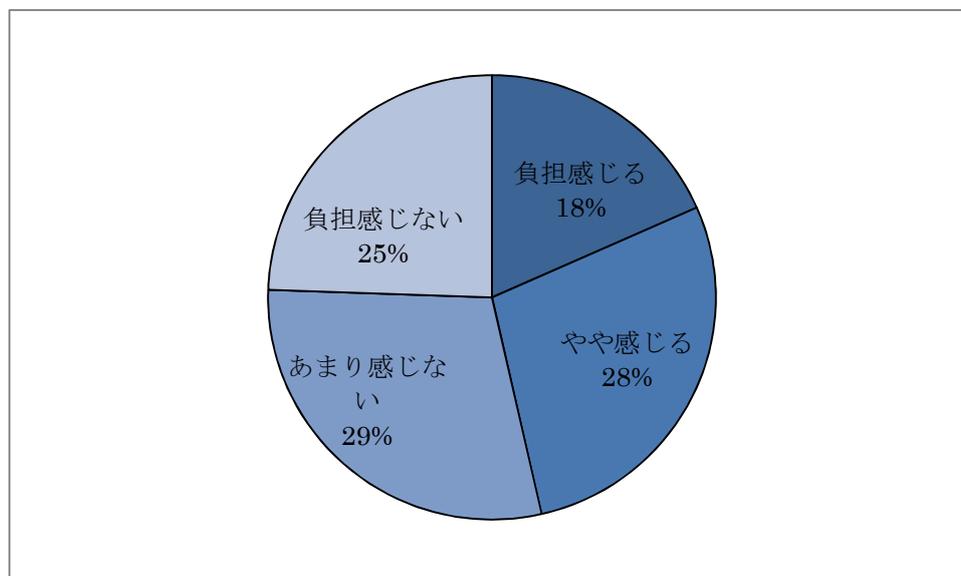


農地負担

	度数	パーセント (%)
負担感じる	136	17%
やや感じる	286	36%
あまり感じない	195	25%
負担感じない	177	22%
合計	794	100%

図 2 1 は、農地を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている方の割合を示したグラフである。最も多い回答は、負担を「やや感じる」(36%) である。負担を「感じる」と「やや感じる」とを合わせると、その割合は 53% となる。他方で、負担を「感じない」、「あまり感じない」と回答した割合は 47% である。ここから、農地の管理に対する負担感についての回答は 2 つに分かれていることが分かる。

図 2 2 山林に対する金銭的・精神的負担感

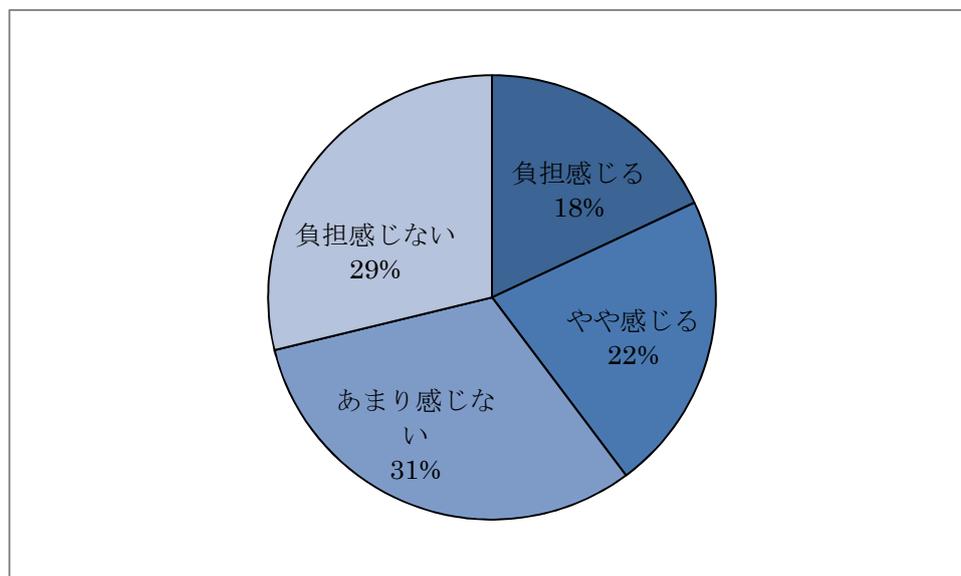


山林負担

	度数	パーセント (%)
負担感じる	142	18%
やや感じる	217	28%
あまり感じない	225	29%
負担感じない	189	24%
合計	773	100%

図 2 2 は、山林を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている人の割合を示したグラフである。最も多い回答は、負担を「あまり感じない」(29%)である。負担を「感じる」と「やや感じる」を合わせると、その割合は 46%となる。他方で、負担を「感じない」、「あまり感じない」と回答した割合は 54%である。ここから、山林の管理に対する負担感についての回答は 2 つに分かれていることが分かる。

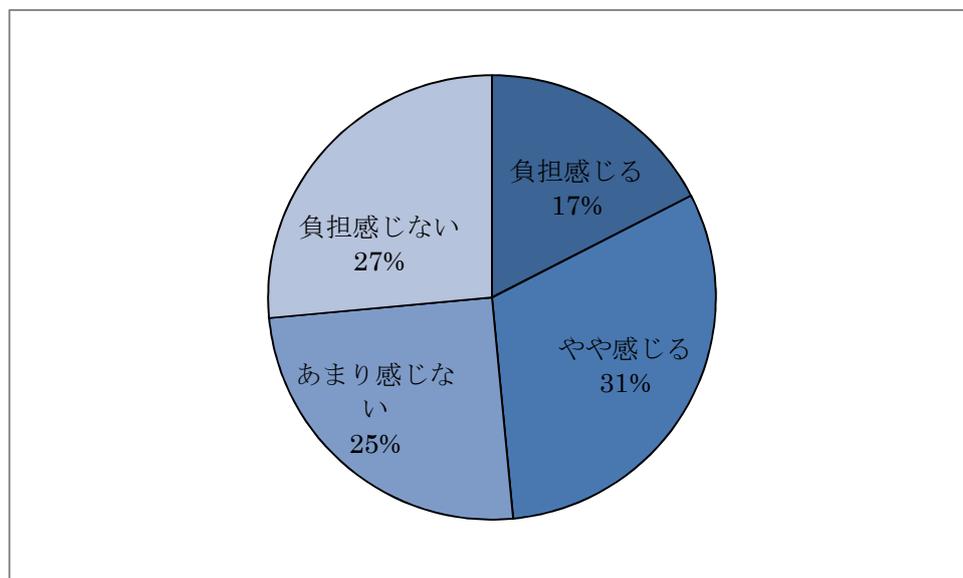
図 2 3 共有林に対する金銭的・精神的負担感



共有林負担		
	度数	パーセント (%)
負担感じる	118	18%
やや感じる	143	22%
あまり感じない	206	31%
負担感じない	189	29%
合計	656	100%

図 2 3 は、共有林を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている人の割合を示したグラフである。最も多い回答は、負担を「あまり感じない」(31%) である。負担を「感じない」と「あまり感じない」を合わせるとその割合は 60%となる。他方で、負担を「感じる」、「やや感じる」と回答した割合は 40%である。ここから、回答者の 6 割は共有林の管理を負担に感じていないことが分かる。

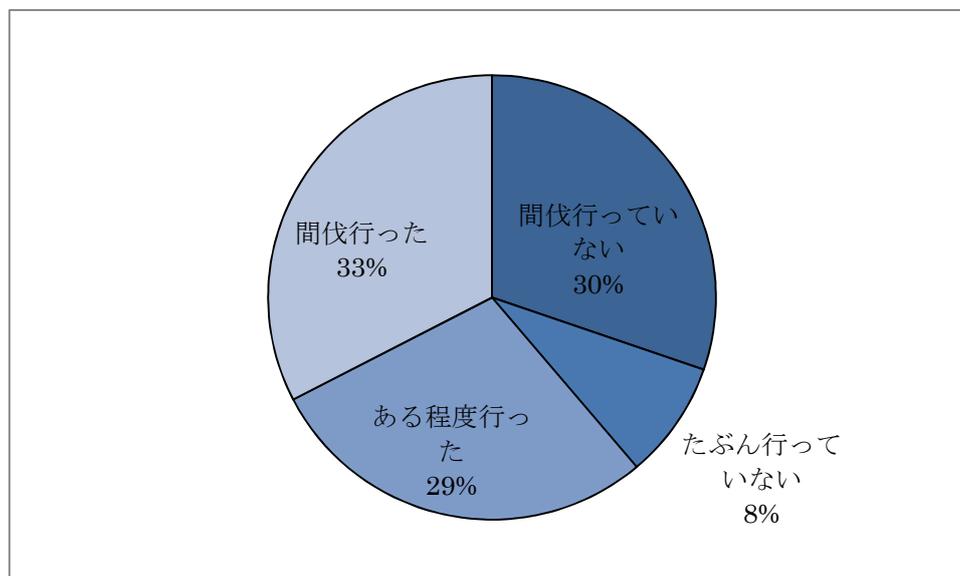
図 2 4 家屋に対する金銭的・精神的負担感



家屋負担		
	度数	パーセント (%)
負担感じる	156	17%
やや感じる	278	31%
あまり感じない	224	25%
負担感じない	237	26%
合計	895	100%

図 2 4 は、家屋を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている人の割合を示したグラフである。最も多い回答は、負担を「やや感じる」(31%) である。負担を「感じる」と「やや感じる」を合わせると、その割合は 48% となる。他方で、負担を「感じない」、「あまり感じない」と回答した割合は 52% である。ここから、家屋の管理に対する負担感についての回答は 2 つに分かれていることが分かる。

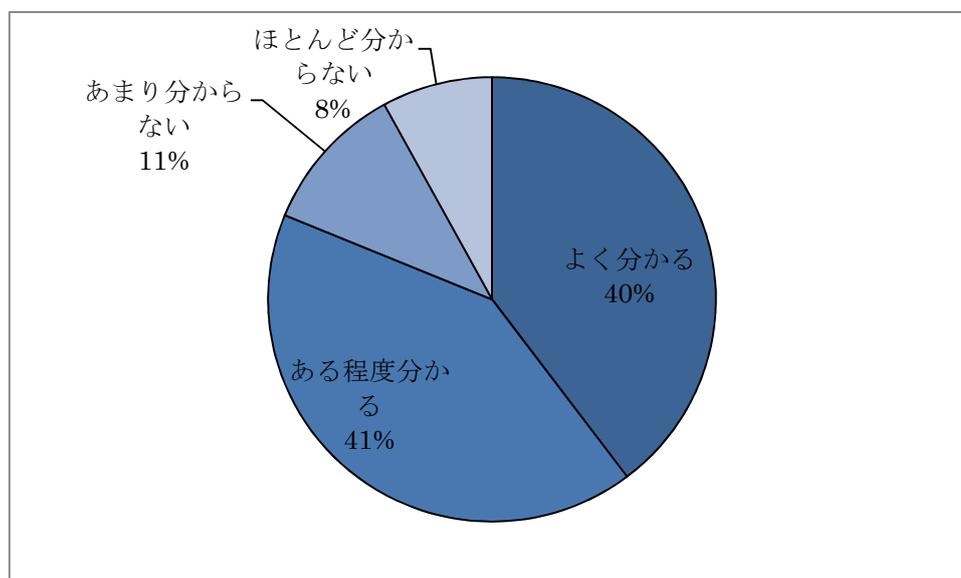
図 2 5 人工林の間伐



間伐		
	度数	パーセント (%)
間伐行っていない	234	30%
たぶん行っていない	66	9%
ある程度行った	221	29%
間伐行った	252	33%
合計	773	100%

図 2 5 は、山林（私有人工林と共有林）の所有者のうち、この 10 年以内に間伐を行った方の割合を示したグラフである。最も多い回答は、間伐を「行った」（33%）である。間伐を「行った」と「ある程度行った」を合わせると、その割合は 62%となる。他方で、間伐を「行っていない」、「たぶん行っていない」と回答した割合をあわせて 38%である。ここから、回答者の 6 割がこの 10 年以内に間伐を行っていることが分かる。

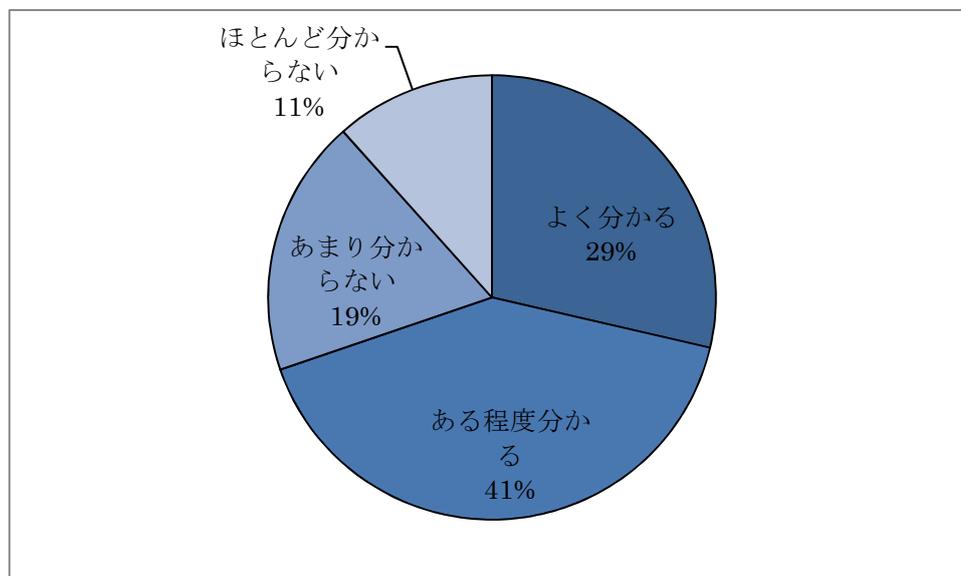
図 2 6 山林の場所



山林場所		
	度数	パーセント (%)
よく分かる	308	40%
ある程度分かる	322	41%
あまり分からない	84	11%
ほとんど分からない	62	8%
合計	776	100%

図 2 6 は、回答者のうち、自身が所有する山林の場所を認識している方の割合を示したグラフである。最も多い回答は、山林の場所が「ある程度分かる」(41%)である。場所が「よく分かる」、「ある程度よく分かる」を合わせると、その割合は 81%となる。他方で、場所が「ほとんど分からない」、「あまり分からない」と回答した割合はあわせて 19%である。ここから、ほとんどの回答者は、自身が所有している山林の場所を把握していると考えられる。

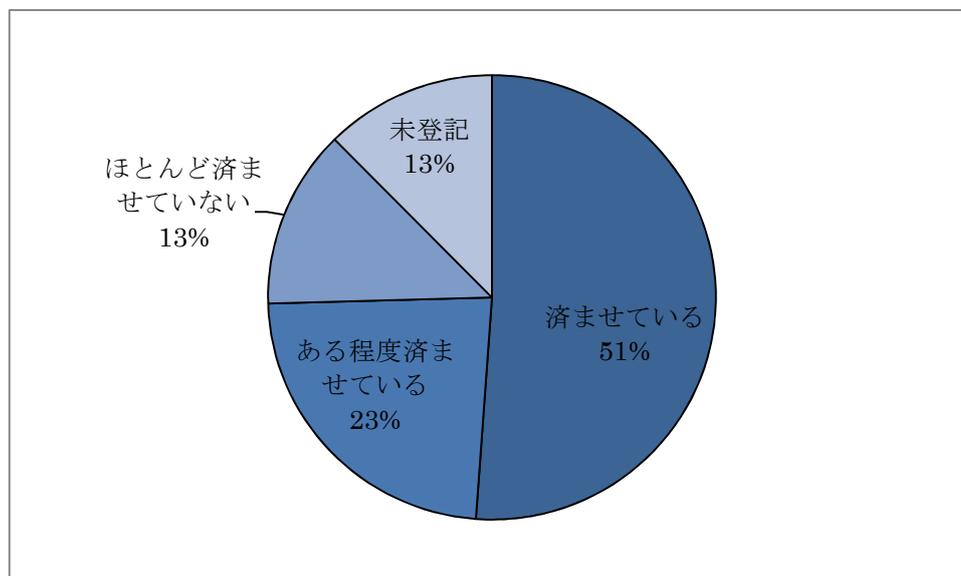
図 2 7 共有林の場所



共有林場所		
	度数	パーセント (%)
よく分かる	193	29%
ある程度分かる	277	41%
あまり分からない	126	19%
ほとんど分からない	78	12%
合計	674	100%

図 2 7 は、回答者のうち、自身が所有する共有林の場所を認識している方の割合を示したグラフである。最も多い回答は、場所が「ある程度分かる」(41%) である。場所が「よく分かる」、「ある程度よく分かる」を合わせると、その割合は 70% となる。他方で、場所が「ほとんど分からない」、「あまり分からない」と回答した割合は 30% である。ここから、回答者の 7 割は自身の所有する共有林の場所を把握していると考えられる。

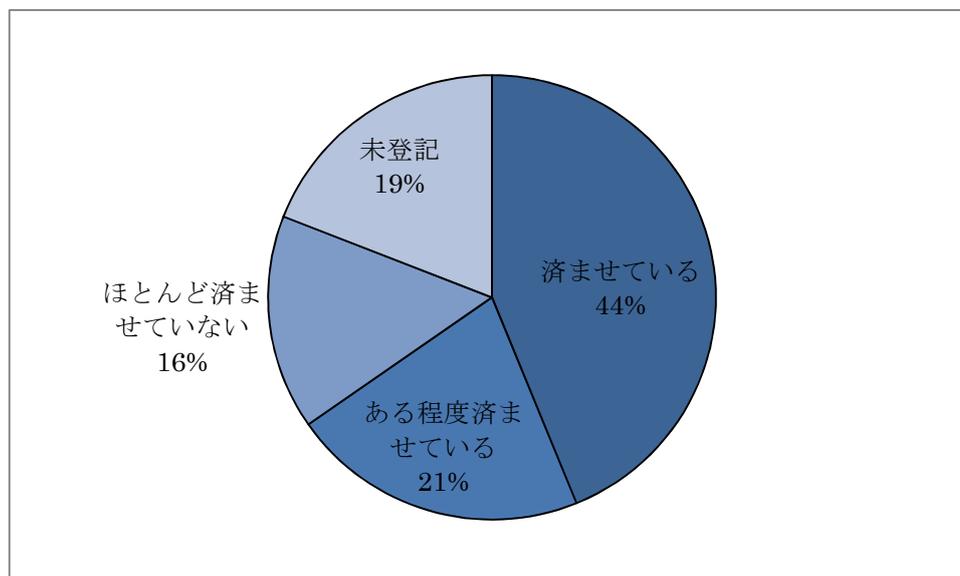
図 2 8 山林の登記状況



山林登記		
	度数	パーセント (%)
済ませている	400	51%
ある程度済ませている	183	23%
ほとんど済ませしていない	102	13%
未登記	97	12%
合計	782	100%

図 2 8 は、山林の所有者の山林の登記状況を示したグラフである。最も多い回答は、登記を「済ませている」(51%) である。登記を「済ませている」と「ある程度済ませている」を合わせると、その割合は 74%となる。他方で、登記を「済ませしていない」、「ほとんど済ませしていない」と回答した割合をあわせて 26%である。ここから、回答者の 7 割は山林の登記を済ませていることが分かる。

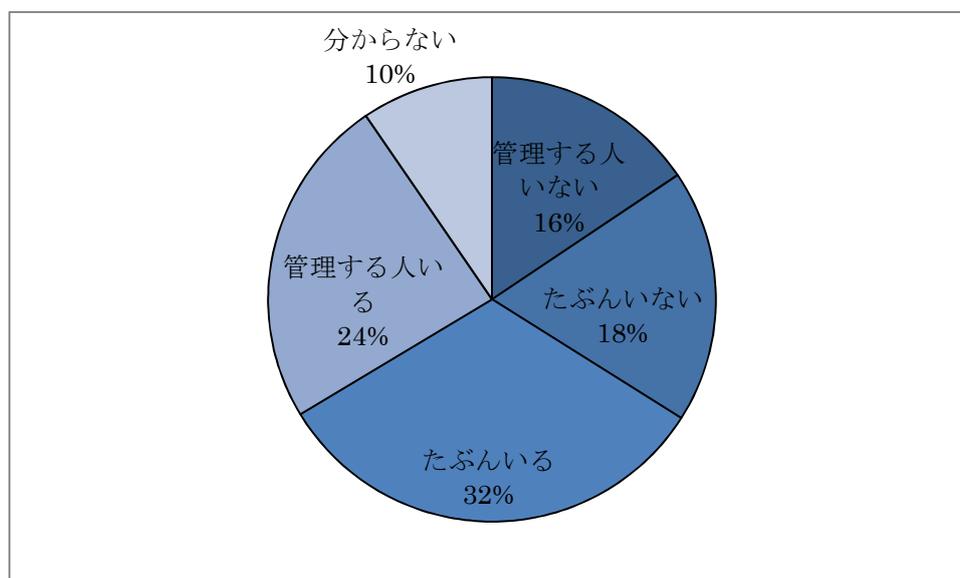
図 2 9 共有林の登記状況



共有林登記		
	度数	パーセント (%)
済ませている	292	44%
ある程度済ませている	143	21%
ほとんど済ませている	104	16%
未登記	127	19%
合計	666	100%

図 2 9 は、共有林の所有者の共有林の登記状況を示したグラフである。最も多い回答は、登記を「済ませている」(44%) である。登記を「済ませている」と「ある程度済ませている」を合わせると、その割合は 65% となる。他方で、登記を「済ませている」「ほとんど済ませている」と回答した割合はあわせて 35% である。ここから、回答者の 6 割以上は、登記を済ませていることが分かる。

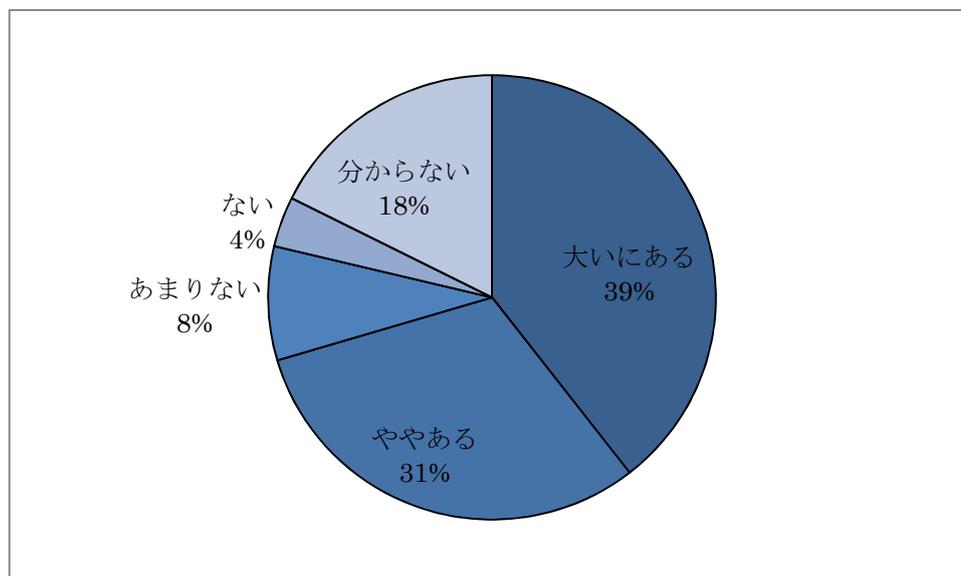
図 3 0 共有林の次期代表者



共有林次期代表者		
	度数	パーセント (%)
管理する人いない	49	16%
たぶんいない	58	18%
たぶんいる	102	32%
管理する人いる	76	24%
分からない	30	10%
合計	315	100%

図 3 0 は、共有林の代表者をしている回答者のうち、次期の代表者が決まっている方の割合を示したグラフである。最も多い回答は、次期代表者が「たぶんいる」(32%)である。「次期管理人がいる」と「たぶんいる」を合わせると、その割合は 56%となる。他方で、「次期管理人がいない」と「たぶんいない」を合わせると、34%なる。ここから、回答者の 3 割には、共有林の代表を引き継ぐ方がいないことが分かる。

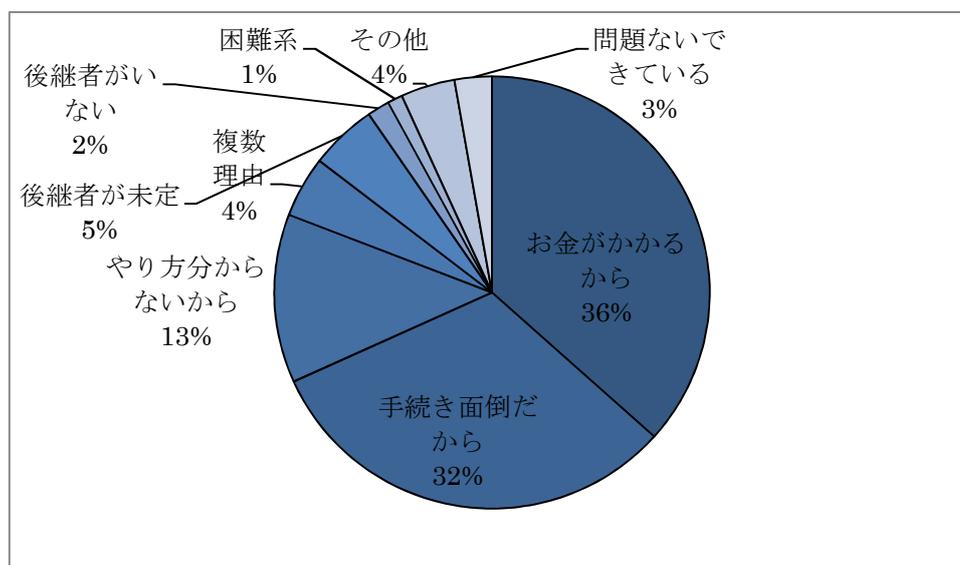
図 3 1 今後も財産管理を続けていく意思の有無



財産管理		
	度数	パーセント (%)
大いにある	367	39%
ややある	288	31%
あまりない	77	8%
ない	34	4%
分からない	164	18%
合計	930	100%

図 3 1 は、自己所有の財産（土地、家屋など）を今後も管理していく意思の有無についての回答の分布を示したグラフである。最も多い回答は、今後も財産管理を行う気が「大いにある」（39%）である。財産管理を行う気が「大いにある」と「ややある」を合わせると、その割合は 70%となる。他方で、財産管理を行う気が「ない」、「あまりない」と回答した割合は 12%である。また、今後財産管理を行うかどうか「分からない」と答えた割合は 18%であった。ここから、回答者の 7 割は、今後も財産管理を行っていくつもりであると考えられる。

図 3 2 財産管理が難しい理由

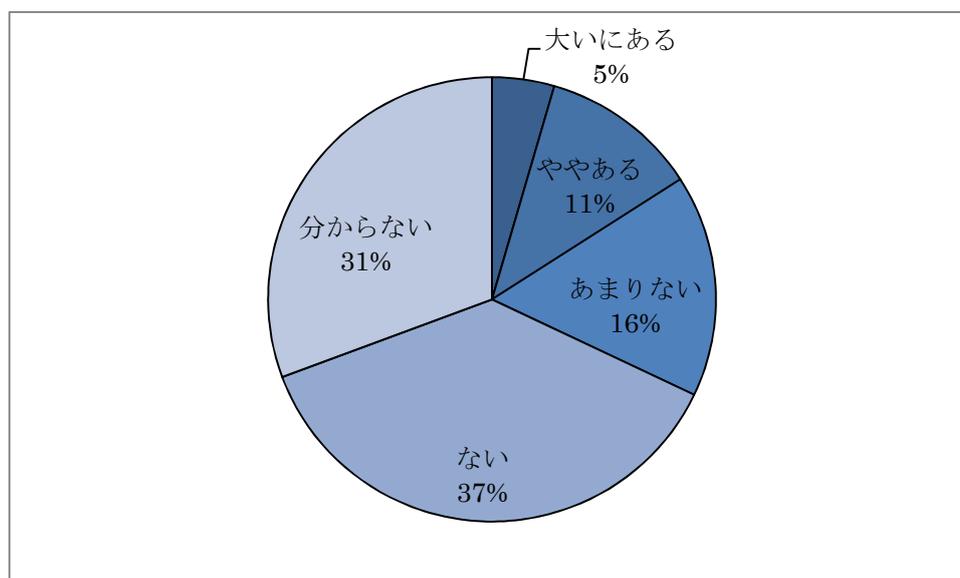


財産管理・理由

	度数	パーセント (%)
お金がかかるから	264	37%
手続き面倒だから	228	32%
やり方が分からないから	91	13%
複数理由	33	5%
後継者が未定	36	5%
後継者がいない	12	2%
困難系	8	1%
その他	29	4%
問題ないできている	20	3%
合計	721	100%

図 3 2 は、財産を管理することを難しくさせている理由を示したグラフである。回答者のうち、「お金がかかるから」と回答した割合が最も大きく、36%であった。次いで割合の大きいものから順に、「手続きが面倒だから」は 32%、「やり方が分からないから」は 13% である。ここから、町民の方々が財産管理を行っていくうえで、費用や複雑な手続きが大きな負担となっている可能性があるといえる。

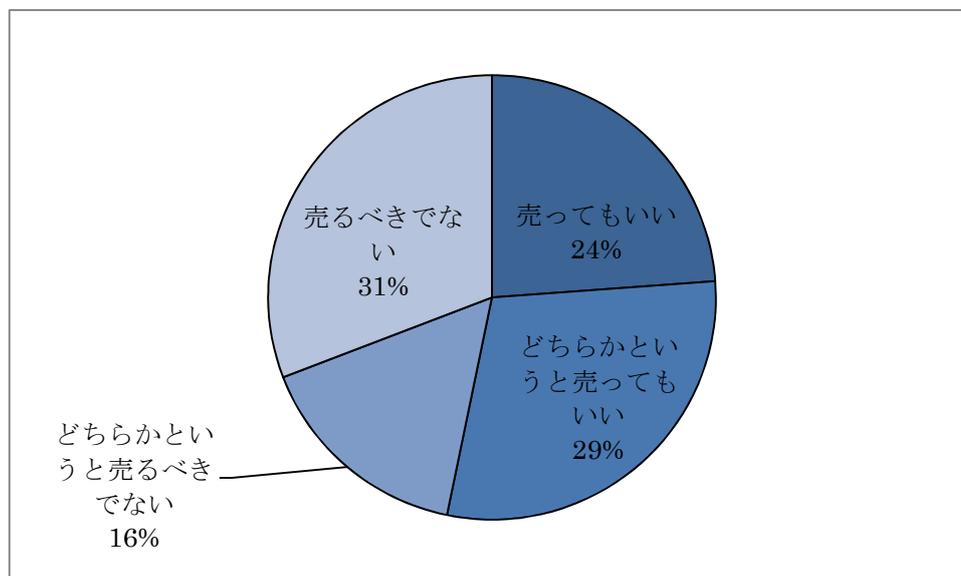
図 3 3 公共機関へ土地財産を寄付する意思の有無



財産寄付		
	度数	パーセント (%)
大いにある	39	4%
ややある	99	11%
あまりない	140	16%
ない	323	37%
分らない	266	31%
合計	867	100%

図 3 3 は、町などの公的機関に土地などの財産を寄付する意思の有無について、回答の分布を示したグラフである。最も多い回答は、財産を寄付する意思が「ない」(37%)である。寄付する意思が「ない」と「あまりない」を合わせると、53%の回答者は、今後も自身の手で財産管理を続けていく、あるいは、財産を売却することを考えている可能性がある。他方で、寄付する意思が「大いにある」と「ややある」を合わせると、16%の回答者は公的機関に財産を寄付したいという意思を持っていることが分かる。また、寄付するかどうか「分らない」と答えた割合は 31%であった。ここから、回答者の半数以上が財産の寄付に消極的であることが分かる。

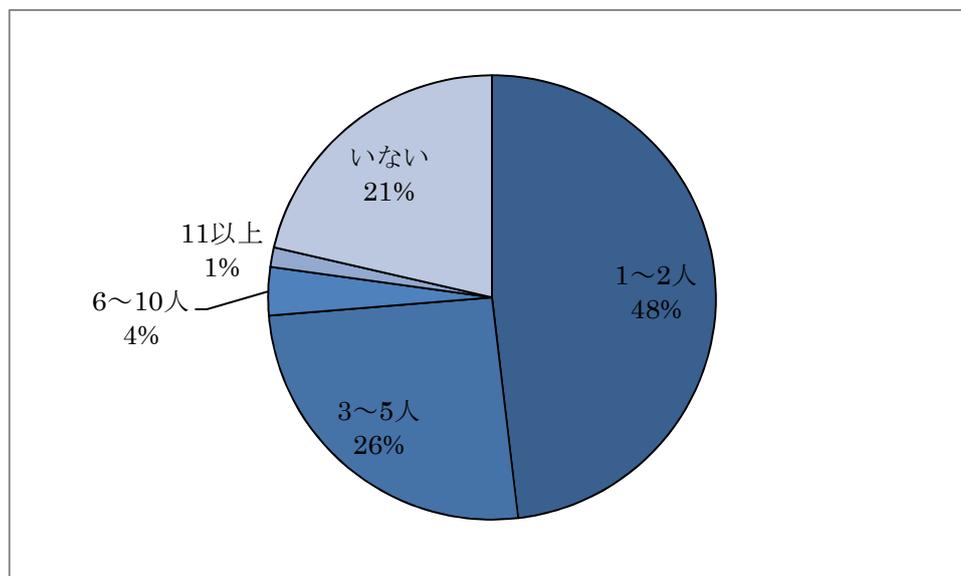
図3 4 財産に対する価値観



価値観		
	度数	パーセント (%)
売ってもいい	211	23.8
どちらかというとも売ってもいい	260	29.4
どちらかというとも売らなくていい	141	15.9
売らなくていい	273	30.8
合計	885	100.0

図3 4は、土地の所有者が財産に対して、どのような考え方をしているのかを示したグラフである。最も多い回答は、「先祖伝来のものだから、自分の代であまり売らなくていい」(31%)である。「自分の代で売らなくていい」、「どちらかというとも売らなくていい」を合わせると、その割合は47%となる。他方で、「自分の財産なのだから、売ってもいい」と「どちらかというとも売ってもいい」と回答した割合は53%であった。ここから、回答者の財産についての考え方は、土地財産を売買可能な財とみなす考え方と、代々受け継ぎ守っていくものとみなす考え方の二つに分かれていることが分かる。

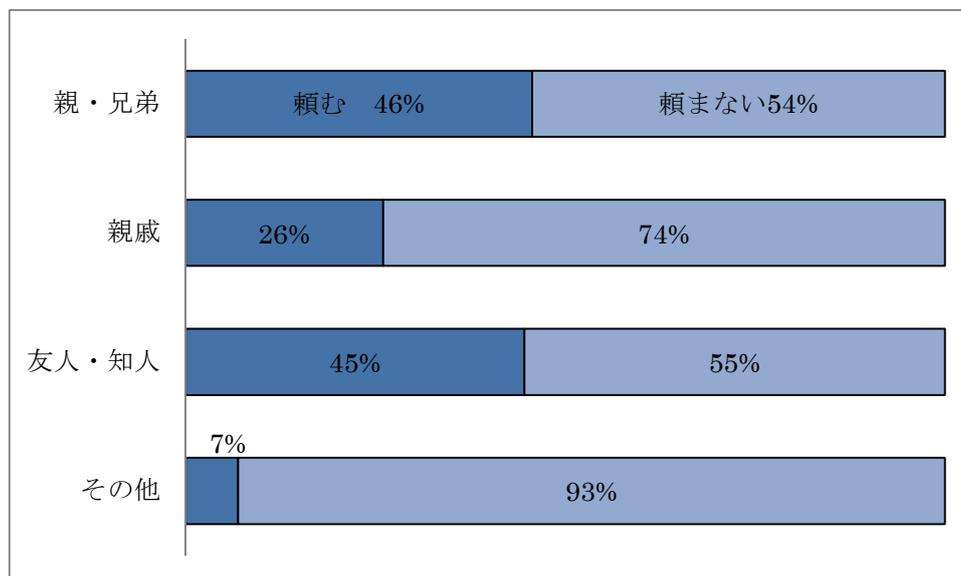
図 3 5 お手伝いを頼める相手の数（町内在住者）



町内依頼		
	度数	パーセント (%)
1~2人	439	48%
3~5人	233	26%
6~10人	32	4%
11以上	13	1%
いない	195	21%
合計	912	100%

図 3 5 は、回答者には、土地を管理するうえでのお手伝いを頼むことができる相手が町内に何人いるかを示したグラフである。最も多い回答は、手伝いを頼める相手が「1人から2人いる」（48%）である。お手伝いを頼める相手が「1人から2人いる」、「3人から5人いる」、「6人から10人いる」、「11人以上」を合わせると、その割合は 79%となる。他方で、手伝いを頼める人物が「いない」と回答した割合は、21%であった。ここから、回答者の約8割は町内にお手伝いを頼める相手がいることが分かる。

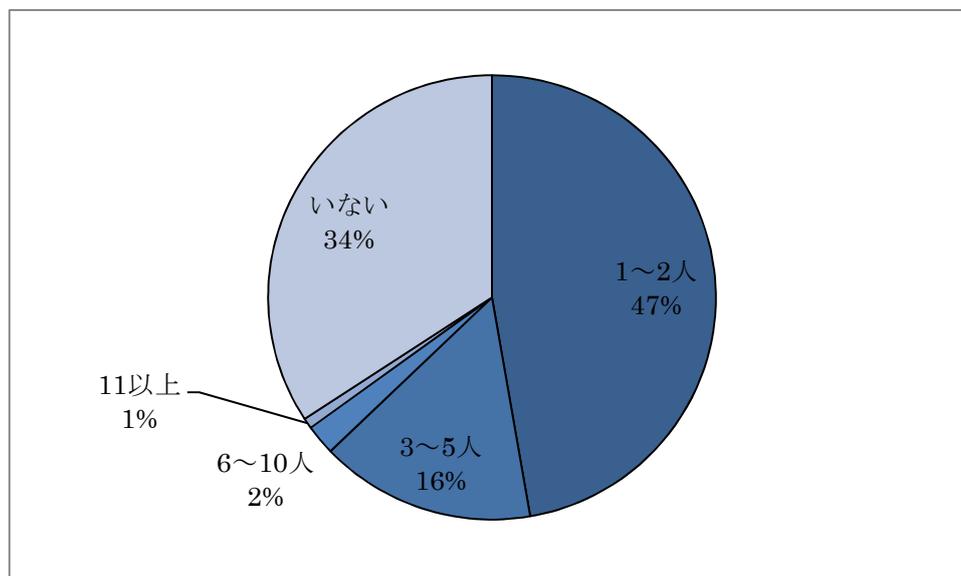
図36 依頼する人との関係（町内在住者）



依頼相手の種類(町内)		頼む	頼まない	合計
親・兄弟	度数	324	387	711
	パーセント (%)	46%	54%	100%
親戚	度数	185	526	711
	パーセント (%)	26%	74%	100%
友人・知人	度数	317	394	711
	パーセント (%)	45%	55%	100%
その他	度数	49	661	710
	パーセント (%)	7%	93%	100%

図36は、図35で「町内に手伝いを頼める人物がいる」と回答した方々は、どのような相手に手伝いを頼んでいるのかを示したグラフである。手伝いを頼む相手としては「親・兄弟」(46%)と「友人・知人」(45%)が多いことが分かる。

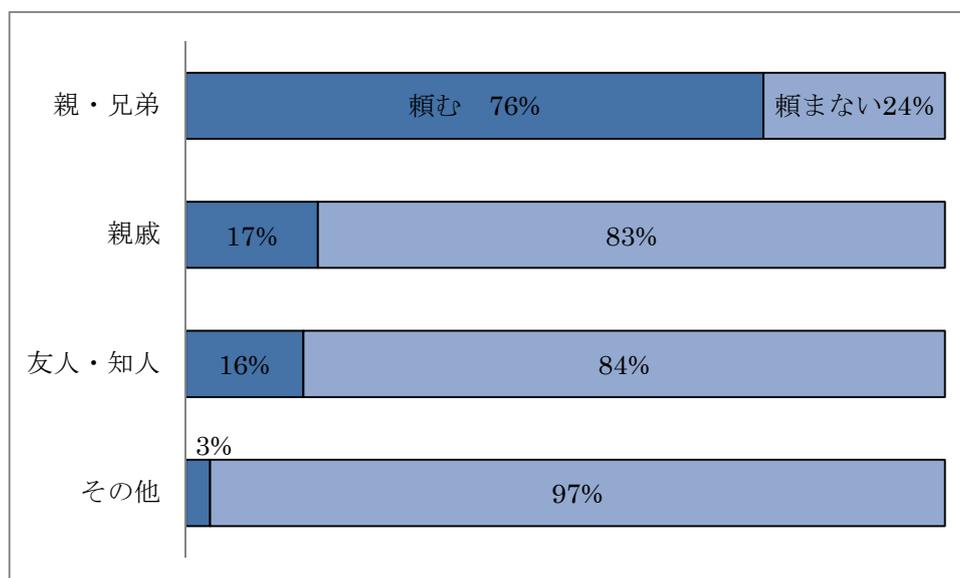
図 3 7 お手伝いを頼める相手の数 (町外在住者)



町外依頼		
	度数	パーセント (%)
1~2人	431	47%
3~5人	142	16%
6~10人	20	2%
11以上	7	1%
いない	312	34%
合計	912	100%

図 3 7 は、回答者には、土地を管理するうえでのお手伝いを頼むことができる相手が町外に何人いるかを示したグラフである。最も多い回答は、お手伝いを頼める相手が「1人から2人いる」(47%)である。お手伝いを頼める相手が「1人から2人いる」、「3人から5人いる」、「6人から10人いる」、「11人以上」を合わせると、その割合は66%となる。他方で、手伝いを頼める相手が「いない」と回答した割合は、34%であった。ここから、回答者の約7割には、町外にお手伝いを頼める相手がいることがわかる。

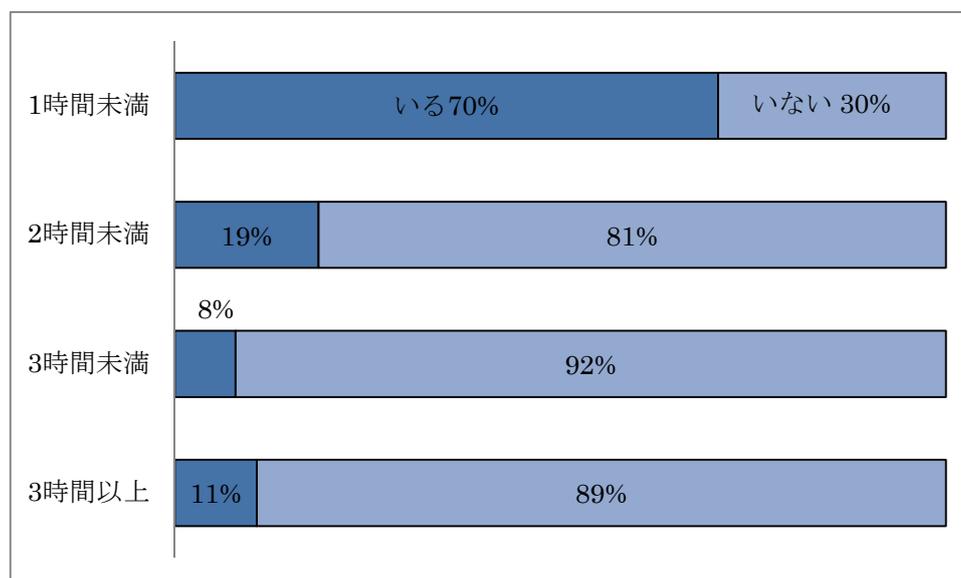
図 3 8 依頼する人との関係（町外在住者）



依頼相手の種類(町外)		頼む	頼まない	合計
親・兄弟	度数	451	142	593
	パーセント (%)	76%	24%	100%
親戚	度数	103	490	593
	パーセント (%)	17%	83%	100%
友人・知人	度数	92	500	592
	パーセント (%)	16%	84%	100%
その他	度数	19	574	593
	パーセント (%)	3%	97%	100%

図 3 8 は、図 3 7 で「町外に手伝いを頼める人物がいる」と回答した方々は、どのような相手に手伝いを頼んでいるのかを示したグラフである。手伝いを頼む相手として「親・兄弟」(76%)が多い。次いで、「親戚」(17%)、「友人」(16%)となっている。ここから、回答者が町外の方に財産の管理について何か手伝いを頼む場合は、主に親や兄弟などの身内を頼っていることが分かる。

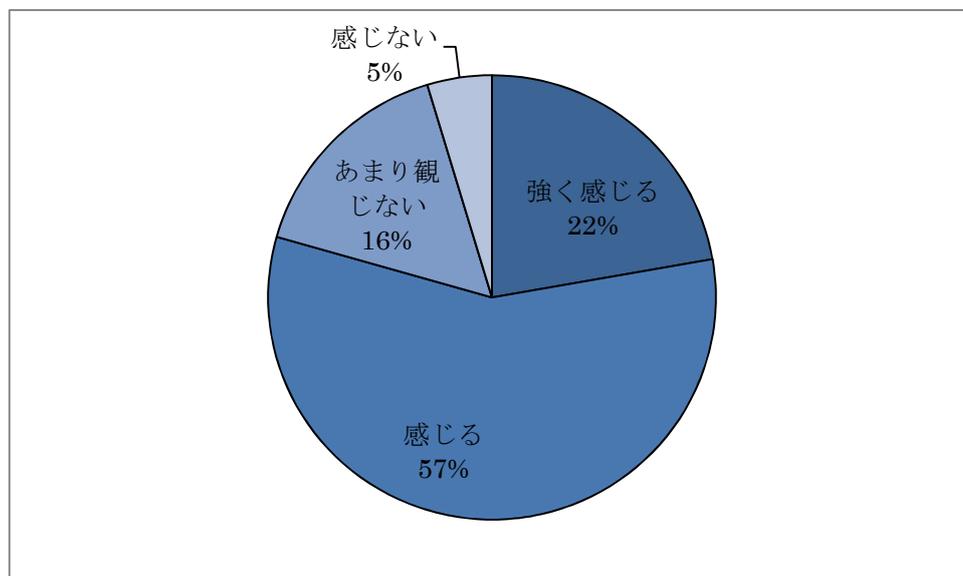
図 3 9 町外の依頼相手との時間的距離



		依頼相手との距離(町外)		
		いる	いない	合計
1時間未満	度数	412	173	585
	パーセント(%)	70%	30%	100%
2時間未満	度数	109	476	585
	パーセント(%)	19%	81%	100%
3時間未満	度数	46	539	585
	パーセント(%)	8%	92%	100%
3時間以上	度数	62	523	585
	パーセント(%)	11%	89%	100%

図 3 9 は、図 3 7 で「町外に手伝いを頼める相手がいる」と回答した方に、その相手は、日南町から車でどのくらいかかるところにいるのかを示したグラフである。回答者のうち、手伝いを頼める相手が車で「1 時間未満」のところにいると回答した割合は 70%で、最も大きい。次いで、割合の大きなものから順に「2 時間未満」は 19%、「3 時間未満」は 8%、「3 時間以上」は 11%であった。ここから、回答者が手伝いを頼む相手は、日南町に近い地域（車で 1 時間で行ける範囲）にいる傾向があるといえる。

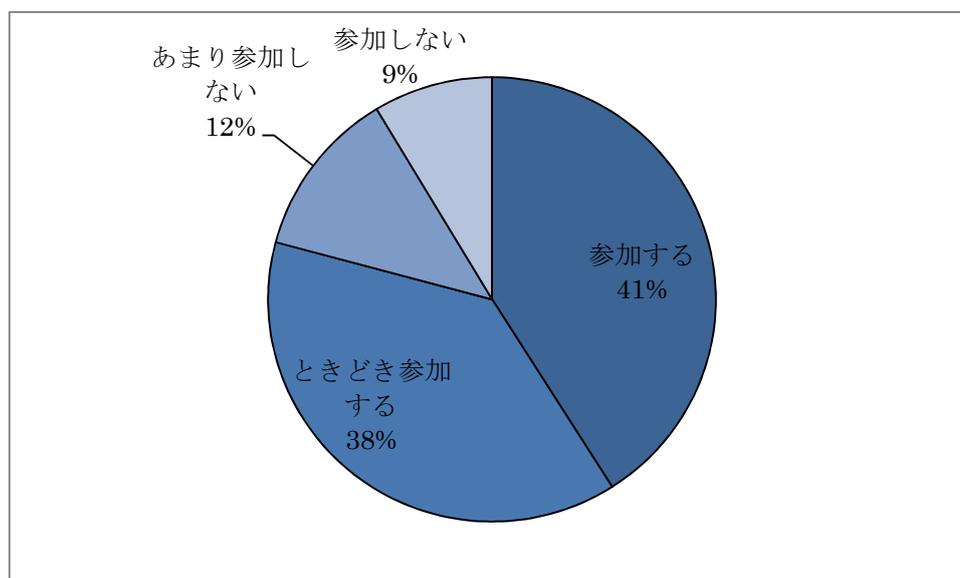
図40 日南町に対する愛着・義務感



愛着・義務感		
	度数	パーセント (%)
強く感じる	205	22%
感じる	527	57%
あまり観じない	147	16%
感じない	43	5%
合計	922	100%

図40は、回答者に、日南町に対する愛着や義務感の有無について、回答の分布を示したグラフである。最も多い回答は、愛着や義務感を「感じる」(57%)である。愛着や義務感を「強く感じる」と「感じる」と合わせると、その割合は79%となる。他方で、愛着や義務感を「感じない」、「あまり感じない」と答えた割合は、あわせて21%である。ここから、ほとんどの回答者が日南町に対して、愛着、あるいは義務感を感じていることが分かる。

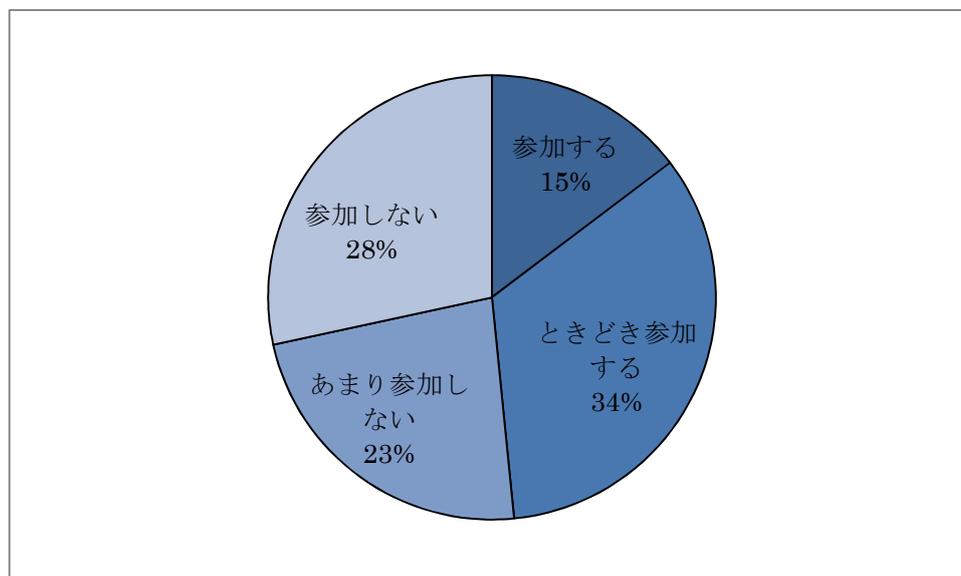
図 4 1 自治会活動への参加



自治会活動		
	度数	パーセント (%)
参加する	395	41%
ときどき参加する	368	38%
あまり参加しない	118	12%
参加しない	83	9%
合計	964	100%

図 4 1 は、回答者の自治会活動への参加の程度を示したグラフである。最も多い回答は、自治会活動に「参加する」(41%) である。自治会活動に「参加する」、「ときどき参加する」を合わせると、79%の回答者が自治会活動に参加していることが分かる。他方で、自治会活動に「参加しない」、「あまり参加しない」と回答した割合はあわせて 21%であった。ここから、回答者の約 8 割が自治会活動に積極的に参加していると考えられる。

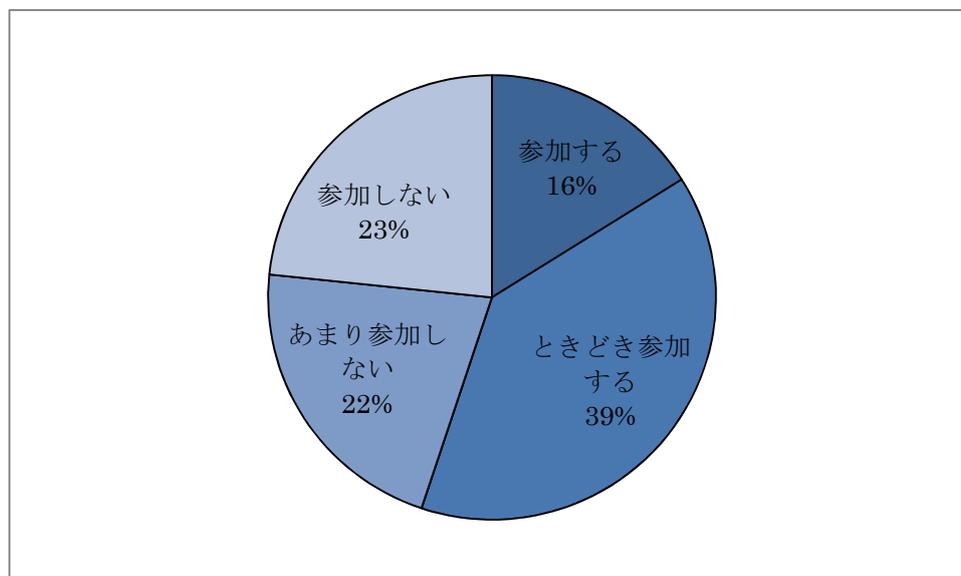
図 4 2 サークル活動への参加



サークル		
	度数	パーセント (%)
参加する	139	15%
ときどき参加する	321	34%
あまり参加しない	220	23%
参加しない	270	28%
合計	950	100%

図 4 2 は、回答者のサークル活動（スポーツ、趣味、文化など）への参加の程度を示したグラフである。最も多い回答は、サークル活動に「ときどき参加する」（34%）である。「参加する」、「ときどき参加する」を合わせると、49%の回答者がサークル活動に参加していることが分かる。他方で、「参加しない」、「あまり参加しない」と回答した割合は 51%であった。ここから、半数の回答者がサークル活動に参加し、趣味やスポーツを楽しんでいることが分かる。

図 4 3 ボランティア活動への参加



ボランティア		
	度数	パーセント (%)
参加する	153	16%
ときどき参加する	371	39%
あまり参加しない	205	22%
参加しない	222	23%
合計	951	100%

図 4 3 は、回答者のボランティア活動（福祉、環境美化など）への参加の程度を示したグラフである。最も多い回答は、ボランティア活動に「ときどき参加する」（39%）である。ボランティア活動に「参加する」、「ときどき参加する」と回答した割合は 55%である。他方で、「参加しない」、「あまり参加しない」を合わせると、45%の回答者がボランティア活動に参加していないことが分かる。ここから、半数以上の回答者がボランティア活動に参加していることが分かる。